

## 『花を訪ねて：紫陽花』

### 川崎・浄慶寺散策(2022年7月10日(日))

当初は南房総の「麻綿原高原」に紫陽花を見に行く予定だったが、“どうも天候があまり良くなさそうだ”ということで、中止になった。それで紫陽花はさることながら、ユニークな羅漢像が面白そうなので、川崎市麻生区にある「浄慶寺」に行くことにした。ここはアジサイで「神奈川 花 100 選」に選ばれている。

当日の朝は曇りだが、雨はなさそうだ。9時半に小田急線柿生駅南口に、伊藤、神田、柳澤さんの計4名が集合して出発した。すぐ右折して最初の四辻を直進すべきところを、小生の思い込みで何となく左折してしまった。だらだら切通し坂を登り切り、下り始めてようやく変だと気付く始末、伊藤さんがスマホで地図を調べたり、通りかかった地元の人に尋ねてやっと正しい道が分かった、元の四辻へ戻り左折しなさいと。結局往復約30分余分に歩くことになった、皆さん、ご免なさい。「山の会だから少し位は歩いたほうが良い」と言っていた。

10時10分に「浄慶寺」に到着。今はもう晴れ渡っていたが、お寺は小山の中腹に広がり、高い木々に囲まれていて風もあるので涼しい。入口に早速、「ミシンでマスクを縫う羅漢さん」が出迎えてくれた。参道を進むと道の両側に羅漢像が並ぶ。酒を飲みながら談笑する二人、お点前のお薄を抱えている像、ワクチンの注射器を持つ像と顔をしかめている像、腕相撲、将棋を指す像、のぞき込む像、大口をあけて笑っている像、パソコンを前に首を捻っている像、トランプをする二人、などなど。正に今の時代を模写した羅漢様達だった。皆さんに投票してもらって、票を得た像をお見せします。

肝心の紫陽花はもう終りに近く、枯れ始めている花が多かったが、それでもまだ見られる花々もあった、大体白色と青色が多かった。本殿脇の傾斜面に植えられていて、細道を登りながら回遊して鑑賞することができる。隣接して「秋葉大権現社」が建っていたので、ついでに参拝した。

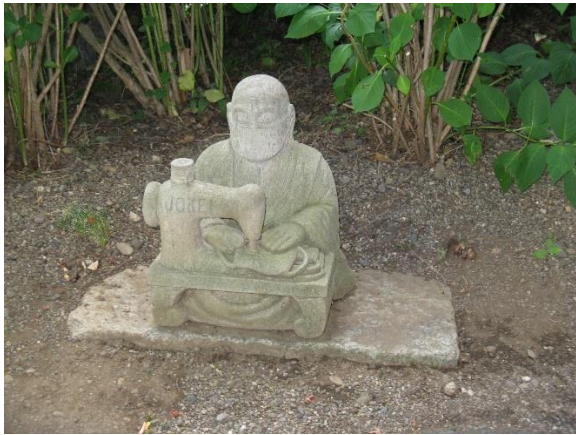
お寺には年配夫婦、若いカップル、若い女性二人連れなどの人達が参拝・鑑賞に訪れていた。若い人たちにも人気があるらしい。

11時にお寺から柿生駅へ戻り、昼食のために一駅電車乗って新百合ヶ丘駅へ向かう。ここに「サイゼリア」があるのだ。駅前のビル内にあるはずだが、入口が分からず、ビルを一回りして11時半ようやく見つけた。皆さん、食事＋フリードリンクをご注文、喉が渇いているので、この“フリードリンク”が目当てです。ノンアルコールで乾杯後、今後ビスターリの活動についてのお話。「7～8月の暑い時期には、暑い町中の平地歩きは無理です」、「7月24日の御岳山→つるつる温泉に是非ご参加を」など。また、12月の「忘年山行」では“真鶴半島散策”、“八王子城址散策”などを考えているので、ご検討下さい、などなど。その後は参議院選挙の話題になり、皆さん朝一番で投票を済ませてからおいでになったと。投票率が低いのは、日本人が民主主義をアメリカから貰った否押し付けられたという意識と、そもそもお上には従うという感覚からだろう、などのご意見があった。

「90分制」なので13時少し過ぎに店を出て、新百合ヶ丘からの電車内で流れ解散した。

以上 陽田

『注記』 神奈川の「花 100 選」に対して、東京には「東京 100 選」がある。皇居、銀座通り、浅草寺、日比谷公園、高尾山、天上山、塩船観音 など多岐の分野にわたる。



マスクをしてマスクを縫っている



ワクチン注射器を持つ羅漢と顔をしかめる羅漢



銘酒「浄慶」を酌み交わす二人の羅漢さん(顔が誰かさんに似てる?)



将棋を指す二人と寝転んで眺める羅漢



パソコンの前で悩む羅漢さん